

第三者評価結果入力シート (児童養護施設)

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②施設名等

名称:	泰山木のある家
施設長氏名:	荒井吉正
定員:	30名
所在地(都道府県):	埼玉県

③理念・基本方針

(1) 理念 未来創造・権利擁護・守破離
(2) 基本方針
・養育理念
一日一日を大切にした『良質な日常の積み重ね』
・令和2年度の養育目標
対話と調和で支え合う良質な日常
～一人がみんなのために、みんなが一人のために～

④施設の特徴的な取組

「守破離」という我が国の伝統的な養育観を尊重するとともに、子供たちが今現在安心して生活する権利を尊重し、同時に未来へと視線を向ける。すなわち過去・現在・未来に視点をあてた養育観を泰山木のある家の基本理念としている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2020/4/1
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2020/7/17
前回の受審時期(評価結果確定年度)	平成29年度

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>①生活を通して多様性と他者への尊重を身につけられる環境が作りあげられています 日々の養育の積み重ねにより子どもたちの良質な生活を実践していく方針が貫かれており、職員への理念浸透が図られています。また職員の連携と細やかな見守りによる男女混合縦割り制が採用されており、子どもたちが多様な価値観や他者への尊重を生活の場から学べる環境が作り上げられています。</p> <p>②情報の集積・分析から子どもたちの心身両面のサポートがなされています 危機管理委員会を設置し、ヒヤリハット・事故報告書の集積・分析等対策を講じています。特に今年度の新型コロナウイルスへの対応は感染防止など身体的ケアだけでなく、外出自粛等による子どもの不満や要望を聞き、困難な中でも過ごしやすい環境となるよう努めています。</p> <p>③中舎制を活かし、チームにより職員を育てています 新入職員は先輩職員の姿勢を日常業務から学ぶ習慣・風習が浸透しており、中舎制による職員配置の利点を最大限に活用した職員育成体制となっています。また充実した研修体制のほか、毎年度職員が希望する書籍購入への手当制度があり、職員の自己研鑽ならびに職員のキャリア展望・現在求められるスキルの考察にも役立てられています。</p> <p>◇改善を求められる点 人材育成・人材確保・人材の定着・施設文化の継承を事業運営上の課題として捉えており、取り巻く環境を考慮しながら改善を図っています。本評価を通じて下記の課題・目標が抽出されており、これまで同様子どもたちの生活の質向上につなげるべく順次取り組んでいくことが期待されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修履歴とキャリアアップが連動した目標管理シートの作成 ●「実習生から採用につなげる」・「学習ボランティア募集」等々のためのPR方法検討 ●里親の施設内研修への参加等さらなる支援への注力 ●意見箱の複数設置 ●各種マニュアルの統一と整理 ●防災備品の分散化 ●服薬管理をはじめとする医療知識の研鑽 ●記録システム導入にあたっての移行方法の配慮

⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>いただいた評価結果では私たちの予想を上回り、高評価をいただきました。 けれども、いただいた評価結果に慢心することなく、評価項目にない部分を含めて改善する部分は改善し、より良質な施設運営を心掛けたいと思います。</p>

⑧第三者評価結果(別紙)

第三者評価結果 (児童養護施設)

共通評価基準 (45項目) I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
【コメント】 基本理念・養育方針は、パンフレット・ホームページに掲載し、職員等広く周知を図っている。①未来創造・②権利擁護・③守破離の基本理念は、わかりやすさ・覚えやすさのために標語調にするなど浸透に対して狙いをもって作成されている。会議やその都度説明をしており、その効果を実感している。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【コメント】 所属・関係団体による会合・研修の参加により、子どもたちをとりまく環境について把握に努めている。新しい社会的養育ビジョン等各種施策・計画について分析し、子どもたちに最善の利益がもたらされるよう運営に努めている。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【コメント】 人材育成・人材確保・人材の定着・施設文化の継承を事業運営上の課題として捉えており、取り巻く環境を考慮しながら改善を図っている。施設が持つ魅力を多くの方々に知っていただくことも今後の課題の一つとして捉えている。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
【コメント】 事業計画中に「泰山木のある家将来像」と題し、令和10年度までのイメージを図示している。小規模化および家庭的養護の推進について長期かつ具体的なビジョンがしめされており、地域小規模児童養護施設への移行案が明示されている。	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
【コメント】 運営方針、処遇計画、行事計画、防災管理、職員研修計画、美化等の項目が網羅された事業計画が策定されている。特に里親支援については今後さらに注力していく意向を計画に記している。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【コメント】 施設長の総括に始まる事業報告書が作成されており、事業実績として細かなデータが掲載されている。特にヒヤリハット報告については、集計、グラフ化、分析が細くなくされており、子どもたちの安全を第一に考えている方針を理解することができる。		
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a
【コメント】 年間行事等については、子どもたちに対して説明し、質疑に応答するなど周知に努めている。保護者に対しても寄り添う姿勢をもって受け入れ、認識を共有しながら行事等の連絡を行っている。また計画書類等を掲示するなど周知の工夫に努めている。		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
【コメント】 年に2回のチェックリストにより、養育支援と子どもたちの権利保障について検証にあたっている。また自立支援計画策定と見直しは、子どもの支援充実だけでなく、施設全体・職員個々の支援力向上につなげられるよう取り組んでいる。ユニットごとの特性に鑑みながら対応を図っており、養育支援の質が個々の子どもの生活の質向上につながるよう取り組んでいる。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
【コメント】 施設長をはじめとする管理職による運営会議、毎月の職員会議において課題等について検討がなされている。「危機管理委員会」・「生と性を育む委員会」などタスクチームにより重要課題の進捗が図られている。		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【コメント】 事業計画には法人および施設の組織図が掲載されており、構成が図示されている。施設長は、大きな目標に邁進するだけでなく、「良質な日常を積み重ねていく」ことを大事にしており、家庭的な養育の実践・明るい職場の雰囲気づくりがなされるよう運営にあたっている。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【コメント】 子どもの権利条約をはじめとした基本理念について研鑽を深めるよう各種研修・会議での指導に努めている。条文の理解だけでなく、どのような行動をすべきか常に自問することを職員に求めている。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【コメント】 日々の養育の積み重ねでしか養育支援の向上は図れないとの持論をもっており、開設以来地道な尽力にて子どもたちの支援に努めている。自施設ばかりでなく、関係団体の研修運営等により地域全体の養育力向上に対しても資している。		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
【コメント】 職員の勤務体制については、子どもたちの安心した生活と職員の働きやすさのバランスを考慮し、労働法令等の改正にも対応に努めている。記録システムの導入によりさらに効率的な業務環境の構築を目指している。		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
【コメント】 職員の退職率の減少、定着に対する取り組みに対して一定の成果を認識している。今後は中舎制を活かした複数の職員による指導、雰囲気の良いなどをアピールし、実習生から採用に結びつく取り組みに注力する意向をもっている。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
【コメント】 就業および給与に関する規定が整備されており、適切な人事管理となるよう取り組んでいる。個人的な成果を考課するのではなく、職場の雰囲気作りが子どもたちを取り巻く環境を整備につなげるよう努めている。		

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【コメント】 子どもたちが安心して過ごせるよう職員配置・勤務体制が組まれている。時間外労働・有給休暇についても帳簿を整備し、管理にあたっている。職員が直属の上司にだけでなく相談できるよう配慮しており、組織が機能するよう取り組んでいる。		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
【コメント】 管理職の面談により目標の確認、モチベーションの向上を図っている。年度末に書籍購入のアンケートをとり、手当を支給する取り組みがなされており、職員の興味がある分野や業務での悩みの確認に役立てられている。研修履歴とキャリアアップが連携した目標管理シートの作成を思案しており、実現と活用が期待される。		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
【コメント】 事業計画には、職員の育成計画・方法を明示しており、具体的方策が記されている。外部研修は、研修担当の職員により経験・受講歴等を鑑みながら参加研修の選別、参加職員の選考がなされている。		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【コメント】 新任研修をはじめとする内部研修の充実、様々な団体の主催による多岐にわたるテーマの外部研修への派遣など積極的な研修機会の提供がなされている。法人・施設が用意をするだけでなく、自己の成長のきっかけづくりができるよう取り組んでいる。		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
【コメント】 マニュアルの策定、オリエンテーションの実施等をもって実習生の受け入れがなされている。子どもたちの日々の生活に影響を及ぼさないよう担当者を中心に配慮に努めている。実習生のモチベーションの維持、将来への展望がはかれるよう指導にあたっている。		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
【コメント】 施設のホームページは、養育理念と養育方針や施設の概要を写真・イラスト等を使用し、によりし丁寧に紹介されている。また財務諸表、役員報酬規程についてもホームページ内に明示しており、誰もが確認できる環境となっている。		

	② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【コメント】 経理規程・個人情報保護・苦情解決・文書保存等諸規程の整備がなされている。また理事会・評議員会の開催・報告を通し、適正な運営がなされるよう取り組んでいる。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
	① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【コメント】 地域のお祭りや清掃活動に参加するなど交流行事について計画的に実施がなされている。地域貢献については、貧困家庭に対する食事支援など将来的な構想が練られている。		
	② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
【コメント】 アニマルセラピー等多様なボランティアの協力を得ており、招待行事については子どもたちの生活を彩りが加えられている。学習ボランティアについてはさらに拡充できるよう広報と募集に努める意向をもっている。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
	① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
【コメント】 退所後の支援先、アフターケアの支援団体とは連携を図り、子どもたちの支援への協力を得ている。地域主催の行事等については子どもたちに紹介し、随時参加している。		
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
	① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【コメント】 地域との防災協定の締結、地域の防災訓練への参加等災害時には相互に協力できる体制を構築している。また施設長が自治会の会合や行事に参加することで交流を深め、施設への理解が深まるよう努めている。		
	② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
【コメント】 市から子育て支援短期利用事業を受託しており、地域の福祉ニーズに応える活動がなされている。清掃活動など日常的な交流を通して地域への貢献に努めている。		

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【コメント】 事業計画等に運営方針・児童養育方針を掲載し、目指す方向性を示している。具体的処遇については、毎月の職員会議での話し合い、支援方針の統一を図っている。新型コロナウイルスの影響から新しい生活様式への移行に対しても「良質の日常を積み重ねる」ことを忘れずに対応に努めている。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
【コメント】 写真撮影・保存についても子どものプライバシーを尊重し、取り扱いへの留意に対して指導にあたっている。職員の丁寧な支援により男女混合縦割り制を維持しており、多様性の中で子どもたちの日常が育まれるよう環境形成がなされている。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【コメント】 入所にあたっては、保護者用、子ども用それぞれにわかりやすく丁寧な資料が作成されている。子どもたちに対しては、自身のもつ権利について説明にあたり、安全・安心な生活の保障を約している。		
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
【コメント】 特に保護者に対しては子どもに対して慎重な対応を依頼しており、関係機関との連携の重要性を説いている。退所後の進路や移行先の選定や相談にあたっている。アフターケア要領に基づき、担当職員が中心となって退所後の支援を継続するよう努めている。		
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
【コメント】 関係機関・地域と連携し、退所後の進路や地域移行の選定・相談・対応にあたっている。里親支援と関係作りの拡充が求められており、里親支援専門相談員を中心に養育里親研修の受け入れ等に努める意向を事業計画に定めている。		
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
【コメント】 月に1回の子ども会での話し合いを通して子どもの趣向やニーズの把握に努めている。また一対一で職員と子どもとの関わりを持つ機会をもうけるなど意識的に意向を聴取するよう努めている。特に今年度は新型コロナウイルスの感染防止にあたり、外出自粛等による子どもの不満や要望を聞き、困難な中でも過ごしやすい環境となるよう努めている。		

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【コメント】 苦情解決規程の設置および苦情解決第三者委員の任命等苦情解決体制が整備されている。意見箱には子どもたちの質問や意見が寄せられており、回答については必要に応じて子どもたちに文書でなされている。意見箱の設置については複数設置、設置場所の再考などを思案している。		
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
【コメント】 子どもの相談に対しては医務室を使用するなどプライバシーに配慮するよう努めている。ハード面以上にソフト面での配慮を重視しており、先ず何より担当職員と子どもとの信頼をつくりあげ、何でも話せる関係が構築されるよう取り組んでいる。		
③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
【コメント】 子どもからの意見や相談に対しては苦情解決フローチャートなど標準化が図られており、職員個人ではなく、組織として対応を図る環境をつくっている。子ども会・意見箱をはじめとする子どもからの意見や意向は、記録として残されており、施設として検討・回答をするよう取り組んでいる。		
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
【コメント】 危機管理委員会を設置し、ヒヤリハット・事故報告書の集積・分析等対策を講じている。ヒヤリハット報告書は、職員があげやすいよう工夫がなされており、安全対策上の効果を確認している。		
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
【コメント】 感染症対策のマニュアルが設定されており、フローチャートに従い対応できるよう準備されている。昨年度からの新型コロナウイルス対策については、行政等関係機関から情報を聴取し、対策を講じている。収集した情報を精査し、とった施策等をマニュアルとしておさめ、施設の知的財産としていく意向をもっている。		
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
【コメント】 職員の配置数が限られている夜間帯想定訓練を中心に避難訓練が実施されている。大きな河川が近隣にあることから水害への対策は備蓄および避難計画書の策定など進めている。今後は防災倉庫を複数化し、万一の事態に備える策を思案している。		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
【コメント】 危機管理・棟固有の業務・支援に対してマニュアルや各種規程が整備されている。職員がわからないことがある際に確認できるよう・安心して業務に就けるよう整備を進めている。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
【コメント】 マニュアルおよび規程については、必要の都度随時改訂がなされている。今後は各種マニュアルの統一と整理を進める意向をもっており、服薬管理の書式改訂なども検討している。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【コメント】 自立支援計画は前年度中に担当職員が素案を作成しており、内容の具体化、支援への具現化、子ども・保護者の意向の反映をするよう意識した計画策定に努めている。緻密な支援の実施が適切なアセスメントにつながるとの見解のもと計画・情報の支援の反映に取り組んでいる。		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
【コメント】 半期による見直しが行われており、子どもたちの成長や状況・状態の変化を改訂している。自立支援計画作成・見直しにあたっては、経験の浅い職員への指導の場として捉えており、実習生も参加するなど経験と支援の深さを知る機会を提供している。		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【コメント】 棟日誌・養育記録にて子どもたちの生活状況・健康状態等が記録・保管されている。今後は記録システムの導入を予定しており、移行にあたっては並行・段階等の方式の検討している。職員の習熟度を考慮しながら進めていくことが期待される。		
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
【コメント】 文書の保存・廃棄に関する規程が整備されており、適切な管理に取り組んでいる。パソコンのパスワード設定、施錠による文書管理等情報の保護・管理体制が整備されている。		

内容評価基準 (25項目)

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【コメント】 年に2回の事例検討会をはじめ、各種研修を通して子どもがもつ権利の尊重を確認している。子どもたちからの意見の受付、職員の管理など速やかかつ適切な対応と風通しの良い環境作りに注力がなされている。	
(2) 権利について理解を促す取組	
① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
【コメント】 年度初めには子どもたち全員に対して権利ノートを配布し、自身の持つ権利について説明に努めている。子どもの暴力防止プログラムの外部団体による学習会の開催など指導にあたっている。	
(3) 生き立ちを振り返る取組	
① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a
【コメント】 関係機関に協力を仰ぐ、視覚的な資料の活用など丁寧な対応のもと生き立ちの整理に取り組んでいる。自身の生き立ちの整理と共に生を肯定的に捉えること・周囲に感謝をすることを主眼として取り組んでいる。	
(4) 被措置児童等虐待の防止等	
① A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
【コメント】 外部機関による子どもへの暴力防止プログラムを活用しており、子どもたちが自身で自分を守ることができるよう指導にあたっている。レスパイトを含め、職員が落ち着いて就業できるよう配慮に努めている。	
(5) 子どもの意向や主体性への配慮	
① A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
【コメント】 施設全体のルール・棟ごとの決まりを遵守し、基本的な生活習慣を維持しながら子どもたちが健やかに成長するよう養育支援に努めている。子どもたちによる意見交換やまた東西の棟の特性を鑑みながら、日課やルールなどが決められている。	
(6) 支援の継続性とアフターケア	
① A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
【コメント】 入所までの流れがフロー化されており、子ども・保護者に配慮しながら関係機関と共に進めている。入所時には子どもの背景の把握、認識の共有を図り、子どもたちが安心して入所できるよう配慮に努めている。	

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
【コメント】 家庭支援専門相談員を中心に退所に向けたリービングケアを実施している。支援団体の積極的活用・退所児童が集まる交流会の開催等支援とフォローに取り組んでいる。		

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a
【コメント】 受容的な姿勢をもって養育支援に望むよう各種マニュアル・規程に盛り込み、子どもからの意見を聞くよう努めている。新型コロナウイルスによる生活等の自粛からの影響に対しても穏やかな生活ができるよう配慮に努めている。		
②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
【コメント】 担当職員との一対一での外出など個別のかかわりを大事にし、時間を確保するよう取り組んでいる。職員間の報告・連絡・相談を密にし、また間接処遇職員や管理職が対応するなど施設全体でフォローに努めている。		
③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
【コメント】 入所中に失敗を経験しながら成長出来るよう子どもたちの生活を見守るよう努めている。新入職員は先輩職員の姿勢を日常業務から学ぶ習慣・風習が浸透しており、中舎制による職員配置の利点を最大限に活用している。		
④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
【コメント】 バスケットコートの設置がなされるなど子どもたちの健全な成長のための環境整備に努めている。バスケットコートと駐車場の使い分けについては今後も検討していく意向をもっている。学びと遊びについても自立支援計画に盛り込み考案されている。		
⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
【コメント】 施設としての決まりはあるものの、生活上の細かなルールは棟ごとに考えながら策定されており、棟の自治や特色が表れている。地域行事や清掃への参加を通して社会的な規範を学べる機会を設け、取り組んでいる。		
(2) 食生活		
①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
【コメント】 個食とならないよう配慮したり、団らんコーナーで過ごす時間を増やしたりと家庭的な環境となるよう努めている。給食会議での検討、子どもたちへの嗜好調査の実施、栄養士による喫食の確認、リクエストメニューの実地等により状況・状態の確認がなされている。幼少期の味覚の確立や成長を促すよう食育への注力にあたっている。		

(3) 衣生活	
① A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
【コメント】 衣類については子どもたちの要望を聞き、適切な服装を着用するよう働きかけている。収納や整理整頓等を含めた衣習慣についても習得できるよう支援にあっている。	
(4) 住生活	
① A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
【コメント】 休日には子どもたちも手伝いながら居室等の清掃をし、整美に努めている。破損箇所の修繕、衛生環境の整備、季節に合わせた植物の育成等により美化を推進している。	
(5) 健康と安全	
① A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
【コメント】 子どもたちの疾病・通院については対応と記録とともに、集計・分析がなされている。服薬管理についてはさらに厳格にし、医療知識の研鑽とともに行っていく意向をもっている。	
(6) 性に関する教育	
① A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
【コメント】 「生と性を育む委員会」が発足しており、年齢に応じた子どもたちへの教育、職員への資料提供、外部講師を招いての研修等注力した活動がなされている。特に多様性の尊重を日常生活から学べるよう取り組んでおり、男女混合縦割り制の良さを活かすよう努めている。	
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応	
① A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
【コメント】 暴力についてはあってはならないこととして入所時より注意喚起に努めており、また暴言についても自己表現力をつけ、つけることができるよう注力した指導にあっている。風通しの良い環境、職員に対する報告・連絡・相談の徹底、スピーディーな対応により安定した生活環境の構築に努めている。	
② A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
【コメント】 子どもたちのパワーバランスを把握し、ささいなトラブルが広がらないよう早期の対応にあっている。子ども同士のトラブルなどから問題を見つけられる職員の育成にあっており、指導に取り組んでいる。	

(8) 心理的ケア		
①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
【コメント】 常勤1名、非常勤1名の心理士配置、充実したセラピールーム、計画的な面談の実施等心理支援環境が整備されている。心理士の非日常的立場による所見を直接処遇に反映するよう取り組んでいる。		
(9) 学習・進学支援、進路支援等		
①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
【コメント】 中高生については学習塾を利用するなど進学への対応を図っている。また小学生については学習教室を活用するなど学習習慣の習得に努めている。子どもたち一人ひとりの差異については、職員がフォローしながら学力の向上に取り組んでいる。		
②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
【コメント】 子どもたちの希望を聞き、一人ひとりの適性を見極めながら進路の決定に関与している。上級学校への進学など多岐にわたる進路も選択されており、退所後の生活への情報提供と支援に努めている。		
③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
【コメント】 アルバイトについては実施要項を定め、適切な就労となるよう取り組んでいる。経済観念の情勢や金銭管理を含め、将来を見据えた自立に役立つよう取り組んでいる。		
(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
【コメント】 家庭支援専門相談員を中心に家庭との連絡・調整を図っており、施設と保護者との信頼関係構築に向け取り組んでいる。主な学校行事を知らせるなど関係の維持にあたり、関係機関と連携しながら支援にあたっている。		
(11) 親子関係の再構築支援		
①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
【コメント】 帰省・一時帰宅については、生活習慣の乱れなどがおきないように・影響を及ぼさないよう保護者への指導、連絡の徹底、書面の配布をし、説明・実施している。親子生活訓練室についても面会等でも活用するなど支援に取り組んでいる。		